

ウムチョ ムイーザ通信

No. 53

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

～会の発足から関わって18年 ようやくルワンダに行ってきました～

NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事 大寺智子



「ルワンダの教育を考える会」をいつも支援してくださっている皆様、ありがとうございます。福島は桃・リンゴの実が大きくなり収穫を楽しみにしております。

「ルワンダの教育を考える会」の発足から18年の今年の3月、私もようやくルイズさんと一緒にルワンダに行くことが出来ました。充実した10日間の一部を報告させていただきます。

この会を立ち上げた時は、ルイズさんを入れて4人でした。文化学園校長の高橋啓子先生、飯高千恵子さんと福島市内の小学校に勤務していた私。「ルワンダにどんな貧しい家の子、親を亡くした家の子も受け入れる学校を作りたい」と熱い思いを持ったルイズさんと一緒に、私もその夢を現実のものにしたいと思ったのでした。

政府から借りた土地にまず、2教室を作ることから始め、お母さん達も一個一個日干しリンゴの積み上げを手伝ったという写真。毎年、入学してくる子ども達のために1教室ずつ作って・・・という話は、本当に自分たちが思い描く学校をまさに手作りして実現していくものでした。机や椅子は、児童数が減り余っていた渡利小学校のものを送りました。今回、それを今も3年生が使っているところが見られてうれしかったです。

また、日曜日に第1回目の卒業生数人が学校にルイズさんと私に会いに来てくれたのです。皆、笑顔の素敵な若者になり、自立していたり学生で目標に向かって勉強中だったりと一人一人報告してくれました。本当にうれしいことでした。



今回の訪問では、幼稚園のクラスで日本の遊びを紹介し、小学校では大河原さん作詞作曲の「ウムチョ・ムイーザ学園の歌」を鍵盤ハーモニカで演奏出来るようにしたいと思い、楽譜に起こし、授業の準備をしていきました。それが昨年福島県中島村の幼稚園で研修したプロシー先生の年長クラスで実現しました。また、音楽は照子さんに習った4年生のクラスで出来たので、大変良かったです。ルイズさんと学校側の配慮に感謝いたします。

帰国の前日には、注文していた全校生分の算数の教科書が届き、子ども達に手渡すことが出来ました。午後は、全員の先生達と算数の基礎的な指導について研修をしてきました。日本の教材を使い、繰り下がり引き算を通して子どもにどんな観点から考えさせたらいいのか話し合いました。熱の入った討論となり、算数プロジェクトの成果を感じてきました。



学校経営や年間指導計画等の課題は大きく残ったままですが、子ども達のいい笑顔にいっぱい出会えた初めてのルワンダは、未来に向かって進んでいる印象を受けました。

改めて会の理念を大切にしたいと思いました。最後に、共に活動を続けてくださっている多くの皆様に心から感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。



ウムチョムウイーザ学園報告

○ 2019年1月1日～3月31日 学費の納入状況報告

生徒数：265名

学費計画：1学期100,000ルワンダフラン×265名

完納	55名
一部納入	108名
全額未納	102名

*2019/3/31現在時価換算による。



	予算	決算	
2019年1学期学費収入	3,259,260円		
2018年末納分納入額		677,312円	
2019年1学期納入額		1,251,680円	38.4%
2019年1学期未納額		2,007,580円	61.6%

(1人あたり=1学期100,000ルワンダフランを約12,299円に換算)

○ 2019年1月1日～3月31日 学園会計報告

[収入]

[支出]

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費【前学期未納分も含む】	1,928,992	職員給料	1,181,700	広報費	0
入学登録料	12,914	職員ボーナス	159,600	住民税	6,906
学校保険掛金	1,230	年金掛金	133,975	交際費	56,601
給食費収入	240,079	健康保険料	163,577	銀行手数料	9,975
ピアノレンタル収入	33,085	国税	329,960	制服布地	68,561
制服・学用品販売	47,364	給食経費	299,563	銀行借入返済	0
制服作成室賃貸	0	光熱水費	13,044	職員へ前貸し	0
多目的室賃貸収入	122,991	通信費	25,459		
アンテナ収入	0	消耗印刷費	55,180		
水販売収入	1,230	旅費交通費	86,660		
その他の収入	1,230	会議・研修費	42,973		
考える会からの支援	796,096	施設維持費	327,685		
個人寄付	0	弁護士料	5,535		
補助金	0	生徒医療保険	16,394		
繰越金	138,762	備品購入	0		
個人からの返済	28,288	建設修理費	0		
		小計	2,841,305	小計	142,043
合計	3,352,261			合計	2,983,348



残金 368,913

3月に、当会大寺智子理事が1年～6年全校生に英語表記の算数の教科書をプレゼントし、教師も子ども達もとても喜んでいました。算数指導プロジェクトは終了しましたが、今後の学力向上が期待されます。



初めての学園卒業生の今

氏名
卒業時年齢
将来の夢



2007年卒業
12歳から18歳まで18名
12年経ちました!



マルティーネ
13歳
ジャーナリスト



イゲエテ
13歳
科学者



ポール
13歳
ミュージシャン



セドゥリック
13歳
医者



エリック
13歳
裁判官



バナナの木の
皮で布を作る
研究



主婦子どもが
ウムチョミーザ学園
幼稚園年中組



実業家
水と衛生を研究
雨水を飲み水へ



IT実業家
コンピューター
の大学を卒業



医学生
医大4年生

ADESOC代表チャールズ&ウムチョミーザ学園校長フランソワーズより

2016年2月、ANT-Hiroshima様から学園に頂いた「柿」の種がすくすく成長しており、広島から来た被爆樹木として授業で説明しております。日本のような四季がないルワンダでは、葉が全部落葉すると枯れてしまったと勘違いします。常緑のルワンダで果たして実がなるまで大きくなるか？ハラハラドキドキ楽しんで手入れしています。

また、日本のIT企業様よりデジタル教科書をいただき、考える会から以前いただいた5人に1台の割合のパソコンとプロジェクターやスクリーンで、効果的な算数の授業が出来るようになりました。

共に子ども達の成長を見守ってくださるようお願いいたします。



NPO法人ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所からの報告

ルワンダ支援の会計報告

*2019/3/31現在時価換算による

期間：2019年1月～3月

単位：円

ADESOC	ミヨペプロジェクト	キミロンコI	キミロンコII	ルワンダ事務所	計
166,751	385,435	164,193	107,002	981,852	1,805,233

※ 日本の円をルワンダへ送金すると、日々金額が変動するので、報告額を単純に比較できないので、おおよそのお金の動きとしてご理解願います。今回は100ルワンダフラン≒12.3円で表記します。

ルワンダ事務所より



ミヨベへ粉の提供

ルワンダ事務所責任者

アキンティジェ シンバ カリオペ



ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所の活動では、ルワンダ最貧困地域ギチョンビ市ミヨベで平日の給食支援・月1回の妊婦や乳児を育てている母親を対象におかゆ作り・週2回の読み書き指導・野菜作りの指導・掃除の仕方の指導を行っています。

2019年度 通常総会報告



2019年5月19日（日）福島市で開催された通常総会の概要を報告します。
平成から令和に変わったのをきっかけに、ルワンダスタッフとも共有できる西暦表記に変更しました。

1、2018(平成30年)度事業報告

- (1) 理事長マリールイズがルワンダからのスカイ講演2回を含む51回全国各地で講演し、平和の尊さ命の大切さ教育の重要性を訴えた。
また、事務局長ルーシーも2回講演した。
- (2) ルワンダの教育支援事業
 - ① ウムチョムイーザ学園では、12回目の卒業式を迎え、これまで325名が巣立った。現在245名の生徒達が学んでいる。3年前から行っているJICA受託事業「小学校教員の算数指導力向上プロジェクト」は、今年の1月で終了した。
 - ② ミヨベプロジェクトは、2017年7月からミヨベ地区での貧困地域の支援を行ってきたが、ReadyForのプロジェクトも3月までで終了した。
- (3) 異文化理解のためのイベント事業
 - ① Rwandaful Summer2018 in ふくしま (2018/7/16)では、1部で「ルワンダ・24年後の今を考える」と題して永遠瑠マリールイズが、また、JICA草の根事業(算数プロジェクト)について、専門員の廣瀬桂子さんと担当の阿部貞夫さんから報告があった。2部では、ルワンダツアー参加者によるトークセッションや、前副理事長の大河原伸さんによる歌とギターの演奏があった。
 - ② 「ルワンダ写真展INふくしま」が1月に開催され、来日していたウムチョムイーザ学園幼稚園教員のプロシーの研修報告会を行った。
- (4) 30を越える会場で、ルワンダの生活や文化の紹介をし、合わせてコーヒー・紅茶・民芸品の販売をして、ルワンダの人々の自立支援をサポートした。
- (5) 東日本大震災復興支援事業・ルワンダカフェ
昨年引き続き、原則毎月第3水曜日に二本松市平石の仮設住宅を訪問し、ルワンダカフェを7回開催した。

収入の部 H30. 4. 1~H31. 3. 31		
科目	合計	備考
1. 会費	990,000	正会員・賛助会員
2. 事業収入	3,222,907	講演・コーヒー・紅茶
3. 委託事業	5,828,352	JICA草の根等
4. 助成金	451,485	クラウドファンディング(ミヨベ)・福島市国際交流協会
5. 寄付金	8,019,853	500円・奨学基金等
6. その他	152,921	コンサート・利息
収入合計	18,665,518	
支出の部		
科目	合計	備考
NGO事業費	5,931,528	学園・ミヨベ支援等
NGO事業経費	7,091,247	現地活動費・経費等
委託事業費	2,096,518	旅費・現地活動費等
国内事業費	3,256,782	コーヒー販売・イベント出店等
管理費	4,280,550	事務所経費等
合計	22,656,625	
前年度からの繰越金		8,802,782
次年度への繰越金		4,811,675

2、2019(令和元)年度事業計画

- (1) 全国で命と平和、教育の大切さを伝える講演活動を行う
- (2) ウムチョムイーザ学園とその周辺子どもたちの支援事業
- (3) こどもの健康診断事業
- (4) ミヨベプロジェクト
※保原ロータリー(日本)と、ビルンガロータリー(ルワンダ)との共同事業になる予定
- (5) 日本だけでなく、ルワンダでの講演活動も積極的に行う
- (6) その他、Rwandaful Summer2019やイベント出店等



2019年度役員紹介	
理事長	永遠瑠マリールイズ
副理事長	倉持睦子
副理事長	穴戸なつ美
理事	大槻美智子
理事	鈴木恵子
理事	大寺智子
理事	佐野孝治
理事	望月優子
監事	菅野直芳

事務局長
永遠瑠ルーシー

ギチュンビ プロジェクト報告

理事 望月優子



ルワンダの教育を考える会の皆さま、こんにちは。2019年3月で Readyfor 調達資金による一年のプロジェクトを終了しました。詳しくはキーワード「ミヨベプロジェクト」で検索して Readyfor のサイトをご覧ください。

3月20日より29日までルワンダを再訪して参りました。ギチュンビ市にも二日間滞在、その間ミヨベにて一人一人への聞き込み調査を行いました。活動は、幾つか実施しましたが、紙面の関係上職業訓練に絞ってお伝えします。職業訓練は、優先順位としては後かもしれないし、すぐに結果が出てくるものではありませんが、長く細く継続していくべきものだと考えて始めたことでした。一年間でこのコミュニティーにどのような変化があったのかコメントを抜粋して紹介します。

刺繍のグループ 「家族の中に会話が増えた。共通の話題をするようになった。今まで、洗濯をしたり身体を洗ったりすることは考えなかったが、お互いに刺激が生まれ生活は大きく変わった。ったらマーケットで売りたい」(46歳女性) 「初めは無理だと思っていた。針と糸を使えるようになってきた。この地域に刺繍を出来る人は少ないので、それを売って収入に繋げたい」(23歳男性) 「食べるものがなく、ずっと寝ていたのですが、そうじゃなくなりました。自分が訓練に来て学んでいることによって、子どもがちゃんと朝起きて自発的に準備をして出ていくようになった」(45歳女性)



洋裁のグループ 「奥さんと喧嘩は辞めた。奥さんを手伝い、掃除もするようになった」(38歳男性) 「根気強く学ぶことを覚えた。収入を得るには、時間がかかるのだということも分かった」(36歳男性) 「考え方が変わってきた。前は収入があると飲みに行っていた。今は、お金が入ったら子ども達に食べさせたり着せたり出来るようになった。得た技術を子ども達に託し、子どもには物乞いをさせたくない」(41歳男性) 「訓練の中で、礼儀作法も習うので生活のなかで自分の態度が変わっていった」



石鹸・ワセリン作りのグループ 「前は、ワセリンを買っていたが、自分で作れるようになって良かった。ワセリンを作り、石鹸を作ってそれを売って食事が買えるようになるのが、目標」(21歳男性) 「自分の中で働く意欲が湧いてきた。技術を使って、色んなものを知って家族を養えるようにしたい」(47歳男性)

このようなコメントから多くの方が、日常生活に気力を持つようになったことを実感しました。水が十分に無いという生活の大きな障壁はあっても、それよりも、生きるということへの意欲や気力、意識の向上が人の行動を変え、前を向いて生きられるんだということに感動を覚えました。また、コミュニティー全体に自信が生まれ、みんなで協力する生き方を進んでいこう、という意気込みも感じられました。人々の意識の変化により、家庭が円満になった、とか喧嘩が減った、というコメントもありました。飢えに苦しむことのない生活が、荒んでいた人間関係にも好影響を与えたのだと感じました。



お一人お一人の気持ちのこもったご支援と、実施にあたっての皆様からの資金のおかげで、ひとりひとりが笑顔を持ち、前向きな気持ちを持つことができた今が第一歩です。
本当にありがとうございました。団体スタッフ・関係者一同、心より、感謝申し上げます。



【スタディツアー報告 2019.2.23~3.6】



新潟大学農学部 2年 渡邊匠海



2月にRWAN-JAのメンバーとしてルワンダを訪れました。ルワンダで見たものすべてが自分の目にしたことのない世界でルワンダでの生活は自分を成長させてくれました。「なぜ小学校の時みんなで給食を食べるのか」ルワンダに行くまでは考えたことがありませんでした。理由は当たり前であると考えていたからです。小学校でみんなで給食を食べるのは自分の中で当たり前でそれが無い生活があるとは考えたこともありませんでした。ルワンダに行きウムチョムイーザ学園を訪れ校長先生と話をしました。食べている生徒と食べていない生徒での明らかな成績の違いや妬みや嫉妬などの複雑な問題が起きていることを知り、これが給食を食べる理由であると知りました。それと同時に食べることでできない生徒たちに給食を食べてもらいたい。そのためには私たちに何ができるのかを考えました。あまりにも給食を食べていない生徒が多いため自分たちの活動ではできることは限られていますができることはやっていきたいと思いました。

現在の目標は給食費支援ですが長期的には継続して支援するためにどんなことができるのか考えていきたいです。また帰ってきてから学ぶことも多くあります。ジェノサイドは知っていましたが、その背景に何があったかやどういった経緯で起きたのかは帰ってきてから勉強しました。ルワンダに行ってから知ったこと、帰ってきてから学んだこと、自分はとても貴重な経験をさせていただいたと思いました。

新潟大学創生学部 3年 長谷部千紘

私は新潟県の学生団体RWAN-JA(ルワンジャ)でウムチョムイーザ学園の給食費を支援しています。今年の2月23日から3月6日の12日間、ルワンダを訪問しました。RWAN-JAとしては昨年に続き2回目のスタディツアーになりました。学園では、まず朝の会に参加し、それから校長先生に給食についてインタビューし、授業を見学し、子ども達と一緒に給食を食べました。校長先生から、給食を食べられない生徒が多くいること、給食が食べられない子は成績が悪いこと、給食を食べられないと午後の授業に集中できないことなどを教えてもらいました。日本では当たり前みんなが食べている給食の重要性を再認識しました。



ミヨベの子ども達と一緒にダンス

標高が高い地域にあるミヨベにも行きました。昨年ルワンダに行った先輩からは、ミヨベは「子どもたちに笑顔がない」「寒いのに薄着や裸足の子もいた」と聞いていました。しかし、私たちの予想に反して子ども達は楽しそうに歌を歌い、天気も良かったので外で元気に遊んでいました。

他には、アカゲラ国立公園や北部のムサンゼ、南部のブタレにも行きました。アカゲラ国立公園では、見られる確率が低いというゾウを大群で、しかもすぐ近くで見ることができて感動しました。アフリカの女性がよくしている、編み込みのような髪型に挑戦したこともとても印象に残っています。



編み込みの髪型

ルワンダに行ってから、それまで遠い国だと思っていたルワンダが、そしてアフリカが、ぐっと身近に感じられるようになりました。昨年度私たちRWAN-JAは、8人の1学期分の給食費5万円を寄付しました。今後も一人でも多くの生徒が給食を食べられるように、それによって勉強に集中できるように、給食費の支援を続けていきたいと思っています。

ルワンダフルサマーコンサート 2019 開催!

※日時:7月15日(月・祝)

※場所:郡山市中央公民館 多目的ホール

※内容:マニーマーティンコンサート他



マニーマーティンとの出会い

永遠瑠マリルイズ

約10年前、当会の事務所で仕事をしながら何気なくスマホで聞いていたルワンダの音楽に感動し涙が止まらなくなりました。

・・愛された人に会えなくなった・・・いつか会えることを信じて
刑務所にいる人の面会もつらい・・・孤独を癒してほしい
物乞いをしなくてもいい日が来ることを・・・

この世のつらいこと・・・泣かないで
いつか涙を拭いてくれる人が現れるでしょう!
泣かないで・・・

すぐに、ぜひとも会いたくなり連絡先を探していたら電話がつながりルワンダで本人に会うことができました。

その後、ウムチョムィーザ学園でのピースコンサート開催などファンの一人として応援し、今回日本各地でのコンサートを実現することができました。

ぜひ、すてきな歌声を会場でお聴きください。



★あなたのご支援をお願いします!

ルワンダコーヒー・紅茶通信販売のお知らせ

 コーヒー (豆・粉)	200g	1,200円	最少購入個数	5個	(送料込み)
	コーヒーはルワンダの重要な農産物です。コーヒー栽培に適した自然環境と丁寧な作業が最高品質の生豆を生み出します。 バランスの取れた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘み、クリーミーなコクが特徴的です。				
 紅茶	100g	600円	最少購入個数	10個	(送料込み)
	紅茶も、ルワンダの重要な農産物です。 華やかな風味も感じられるすっきりと爽やかな紅茶です。				
発注方法	メール: info@rwanda-npo.org				



お知らせ

2019年5月19日の総会により、現在の福島事務所を、本部とし、郡山事務所とルワンダ現地事務所を置くことが承認されました。福島事務所の本部長を穴戸なつみ 事務局長を永遠瑠ルーシー・郡山事務所の所長を大和田紋子・ルワンダ現地事務所の所長をカリオベが担うことになりました。よろしくお願いいたします。

あいさつ

この度、郡山事務所が開設されるにあたり、諸事を担当させて頂くことになりました。「ルワンダの教育を考える会」の活動がより理解され広がって行く様に微力ではありますが、努めて参りますので、宜しくお願い致します。

大和田 紋子



【新監事あいさつ】



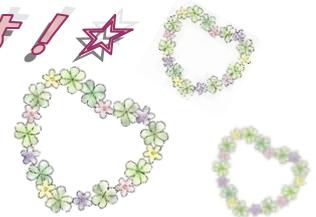
「貧困と紛争の解決には、教育が必要である」というこの会の理念に賛同して参加しました。微力ではありますが、ルワンダの教育を考える会の発展に少しでも貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。
菅野直芳

★各種振替口座番号のご案内です！★

会費振込・寄付・募金

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在57名登録



イベントスタッフ随時募集中！

一緒にイベントを楽しみませんか？連絡をお待ちしています。

※イベント情報は、ホームページ、フェイスブックでチェックしてください！



—編集後記—

母の日にいただいた紫陽花を地植えしましたが、昨年は一つも花が咲きませんでした。今年は梅雨が楽しくなるほど華やいています。



T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリルイズ

〒960-8036

福島県福島市新町8-21

TEL:024-563-6334 FAX:024-563-6335

ホームページ：<http://www.rwanda-npo.org>

福島mail :info@rwanda-npo.org